

黒川商工会景況調査報告書

組織番号	0 1 9
商工会名	黒川商工会
報告者名	平井 清彦

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 黒川商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 23 事業所 (うち小規模事業者数 22 事業所)
ウ 回答企業数 23 事業所 (うち小規模事業者数 22 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年12月
(調査時点 平成29年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業		0.0%	0	0.0%
建設業	13	56.5%	13	56.5%
卸・小売業	5	21.7%	5	21.7%
サービス業	5	21.7%	5	21.7%
合計	23	100.0%	23	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

新潟県内の景況状況は、調査機関からは穏やかな回復基調が続いていると報告があるが、当地区内の景況状況は人口減に加え需要の停滞と依然厳しい状況である。前年同期と比べても増加割合は少なく、今後も厳しい状況が続くと思われる。

【後継者の状況】

当地区内でも事業主の高齢化が進む中、後継者については重大な問題と考えるが、需要の低迷と厳しい経営状況が続いており、廃業を余儀なくされる傾向である。

後継者 あり	9事業所	39.1%
後継者 なし	14事業所	60.9%

【売上高】

前年同期比、前期比と比較しても、減少、不変と答える割合が増加。今後の見通しも減少、不変と答える割合が多く、現在の需要の低迷が続くと思われる。

前年同期比

増加	不変	減少
5	9	9

前期比

増加	不変	減少
4	9	10

今後の見通し

増加	不変	減少
3	12	8

【採算】

採算ベースを何とか維持していると思われる現在で、今後も売上減少が続くようであれば、採算割れが起こり、事業について大きな影響が出てくるものと思われる。

前年同期比

好転	不変	悪化
5	10	8

前期比

好転	不変	悪化
4	12	7

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	15	5

【仕入単価】

仕入単価は依然上昇しており、これからも低下はしない状況である中、販売価格が上げられない業種については、今後も厳しい状況が続くと思われる。

前年同期比

上昇	不変	低下
9	12	2

前期比

上昇	不変	低下
11	11	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
10	12	1

【販売（客）単価】

現在の販売価格を見直しは厳しい。売上の減少、仕入価格の上昇もあり、採算割れが起こる可能性があり、今後も回復すると考えるには厳しい。

前年同期比

上昇	不変	低下
1	13	9

前期比

上昇	不変	低下
0	13	10

今後の見通し

上昇	不変	低下
0	13	10

【資金繰り】

月々の運転資金について、従前の貯蓄を取り崩している状況であると思われる。このような状況が続くのであれば、いつまで持つか心配な状況と考える。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	9	10	4	10	9	2	13	8

【雇用動向】

当地区内においては、職人不足が懸念される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	19	4	0	18	5	1	18	4

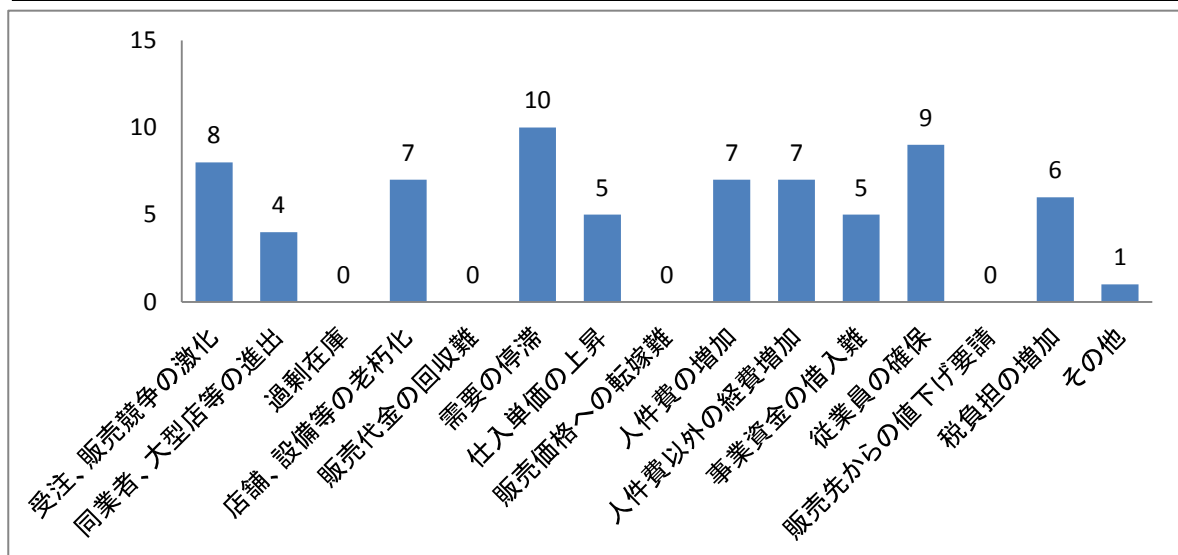
【景況判断】

前年同期比、前期比でも悪化を示す値が高い。今後の見通しについても不変、悪化としており厳しい状況が続くとみている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	8	11	3	9	11	0	12	11

【経営上の問題点】

需要の低迷による売上減少が続いており、また仕入価格の上昇、店舗、設備の老朽化、経費の増加もあり、経営状況は厳しいと思われる。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

製造原価の上昇により、利益が出ず厳しい経営が続いている。今後、仕入先の見直しや新規売上先の販路開拓など営業活動が必要と考える。

(2) 建設業

官公需要、民間需要の停滞で売上は減少している。当地区内のプレミアム建設工事券、リフォーム補助金等を活かした需要はあるものの、使用期間を過ぎた頃リバウンドがあり、年間を通じて需要は少ない。原価高騰により、資金繰りについても徐々に厳しい状態である。

(3) 卸・小売業

当地区内においても、少子高齢化により需要の低迷で売上減少が大きく響く。後継者の問題等からも一番厳しい業種と思われる。

(4) サービス業

店舗の老朽化が進む中、設備投資を行えず、集客が減り、売上も減少。顧客のニーズの把握、サービスのあり方について、今一度見直す必要がある。

